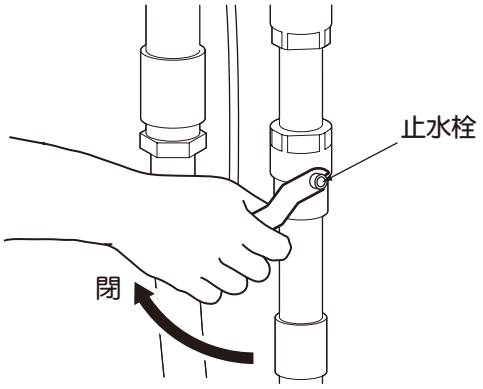
故障かな？と思ったら

緊急時の水の止め方

配管まわりの水漏れや、水が止まらないなど、緊急を要するときは止水栓または元栓を閉めてください。

1. 止水栓を回して閉める。
2. それでも止まらない場合は、元栓を閉める。



トラブルシューティング

下記のような場合は故障ではありません。

修理を依頼される前に以下のことをお調べになり、それでも直らない場合は、お求めの取付店・販売店、または（株）神田製作所へ修理をご依頼ください。

状　態	原　因	対処方法	参照ページ
水が出ない	開閉ねじが閉まっている。	開閉ねじを開く。	P.3
	電源が入っていない。 （ブレーカーが落ちている）	電源を入れる。 （ブレーカーをあげる）	P.4
	電源線が端子台に正しく差し込まれていない。	電源線を端子台に差し込む。	P.4
	コネクターおよび信号線が差し込まれていない。	コネクターおよび信号線を差し込む。	P.4
洗浄水量が少ない	洗浄水量が適切でない。	水量調節ねじを左に回して吐水量を増す。	P.3
	Uパッキンが磨耗している。	Uパッキンを取り替える。	P.5
少量の水が流れ放し	ピストンバルブのフィルターや小穴にごみが詰まっている。	ピストンバルブを取り出し、フィルターや小穴の掃除をする。	P.5
	シートパッキンに傷がある。	シートパッキンを取り替える。	P.5
多量の水が流れ放し	ピストンバルブのフィルターや小穴にごみが詰まっている。	ピストンバルブを取り出し、フィルターや小穴の掃除をする。	P.5

状　態	原　因	対処方法	参照ページ
水勢が弱くて汚物が流れない	止水栓を閉めすぎている。	止水栓のねじを左に回し、水勢を強める。	P.3
水勢が強くて水が飛び散る	止水栓を開けすぎている。	止水栓のねじを右に回し、水勢を弱める。	P.3
バキュームブレーカーから水漏れする	バキュームブレーカーのパッキンが傷んでいる。	バキュームブレーカーを取り替える。	P.6

フラッシュバルブによる水勢および吐水量の調節

⚠ 注 意

強　制

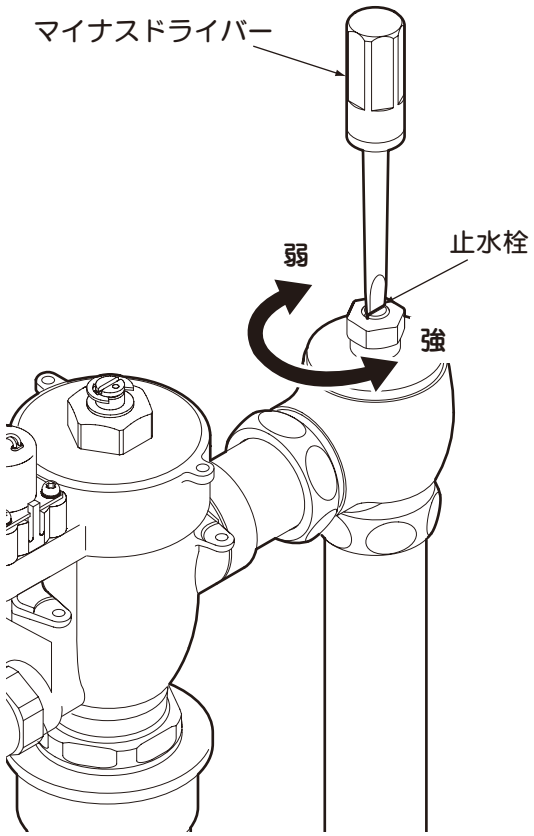
取扱説明書の内容にそって、正しく取り扱うこと
取り扱いを誤ると、傷害または物的損害が発生する可能性があります。

●水勢の調節

フラッシュバルブは水圧の高低によって水勢が変わります。水勢が強すぎると、水飛びを生じたり、洗浄音が高くなったりします。また、水勢が弱すぎると、十分な洗浄が出来ませんので、止水栓の開閉ねじで調節を行ってください。

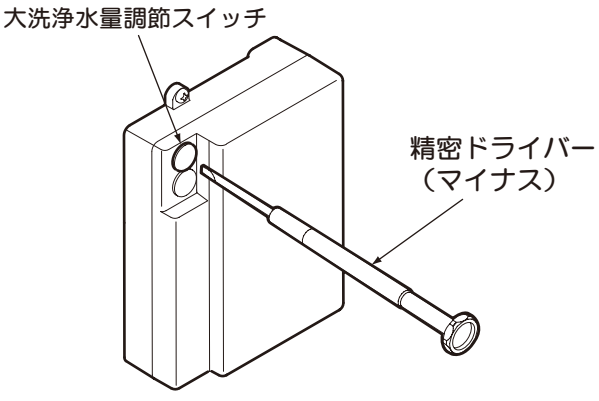
時計回り..... 水勢が弱くなります。
反時計回り..... 水勢が強くなります。

1. マイナスドライバーなどで止水栓の開閉ねじを回す。
2. 水勢の調節をする。



●吐水量の調節（大洗浄水量）

1. コントローラーの上側のゴムキャップを外す。
2. 精密ドライバー（マイナス）などで、大洗浄水量調節スイッチを回す。

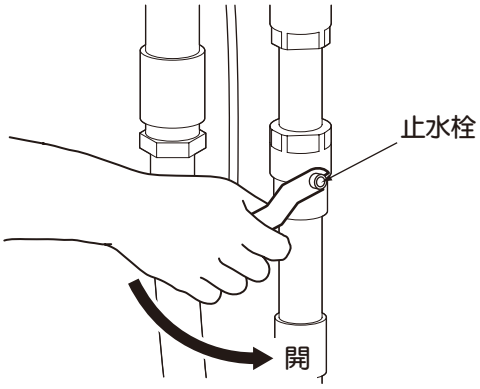


ご使用の前に

止水栓の確認

止水栓は開いてますか。

閉まっている場合は、止水栓を回して開いてください。

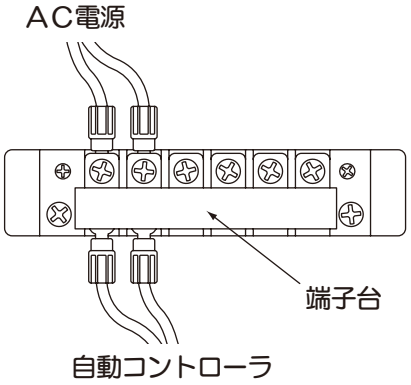


電源の確認

電源端子の位置はあっていますか。

端子台の決められた場所に電源端子がつながっているか確認してください。

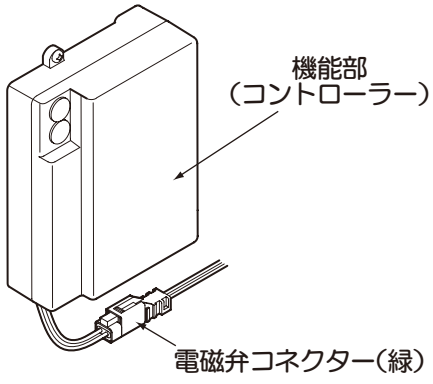
※ 端子の位置が違うなどお気づきの点がございましたら、修理技術者に修理を依頼してください。



コネクターの確認

コネクターは接続されていますか。

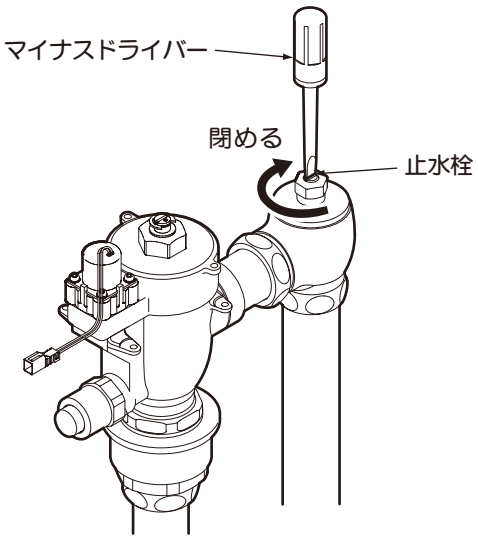
センサーコネクター、電磁弁コネクターが確実に接続されているか確認してください。



ピストンバルブの掃除（月１回）

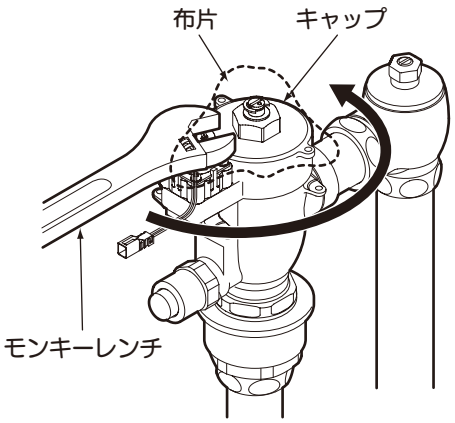
1. マイナスドライバーなどで止水栓を閉める。
2. モンキーレンチでキャップを取り外す。

めっきを傷付けないように必ず布片をはさんでください。

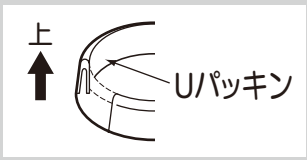


3. ピストンバルブを取り出し、フィルターや小穴の掃除をする。

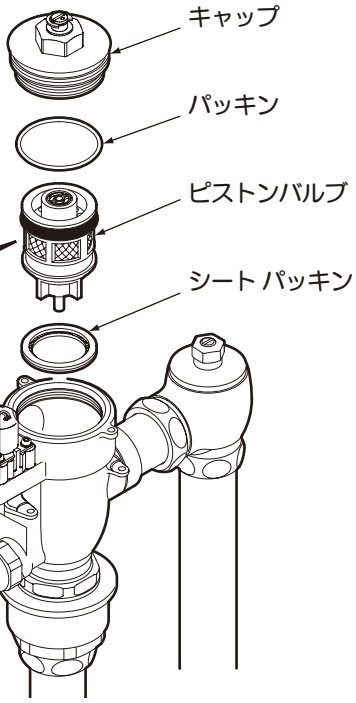
フィルターに詰まったごみや汚れをブラシなどで取り除いてください。
小穴にごみ詰まりがある場合は、細かい針金（荷札の針金など）で掃除してください。

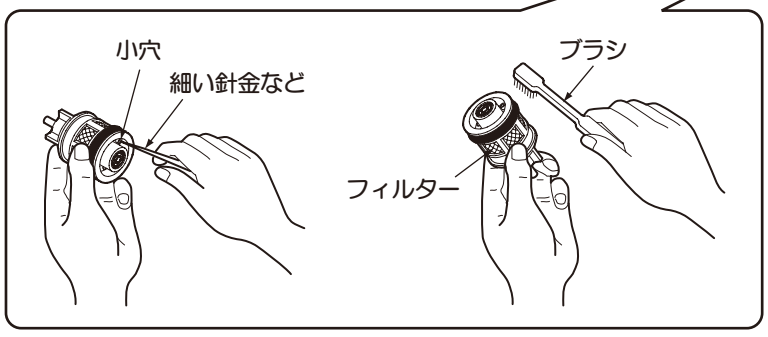


Uパッキンに傷や切れがないことを確認してください。Uパッキンに傷や切れがある場合は向きを間違えないように取り替えてください。



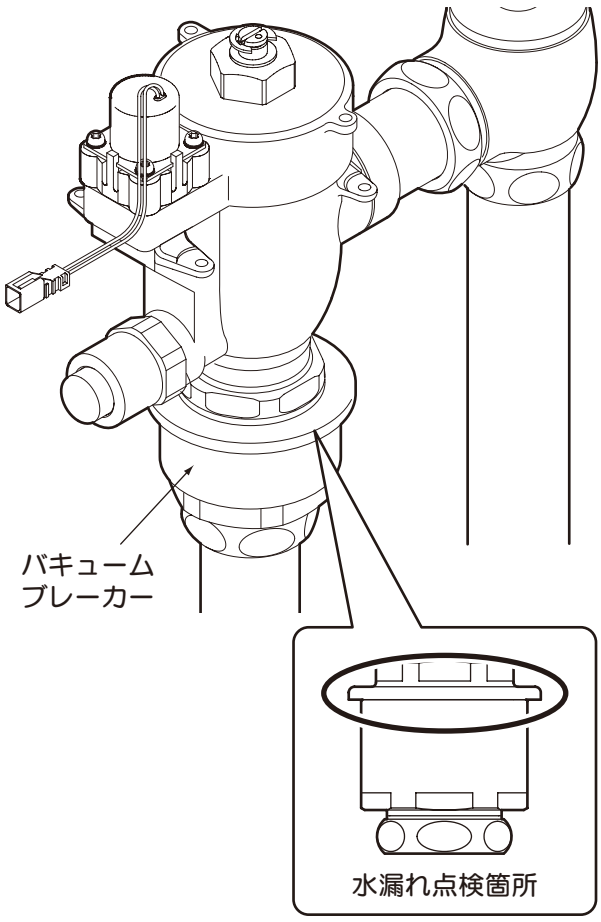
4. 掃除が終わったら、ピストンバルブを組み込み、キャップおよびカバーを取り付ける。





バキュームブレーカー部の点検（年２回）

バキュームブレーカーまわりの水漏れがないか確認する。

1. バキュームブレーカーの周囲を確認して、水漏れ跡がないかを確認する。
2. ２～３度、洗浄押ボタンを押して水を流し、水漏れがないかを確認する。

1. 2. で、水漏れ跡や水漏れが確認されたときは、お求めの取付店･販売店、または（株）神田製作所へ修理をご依頼ください。